

平成24年度 自己評価書

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 和歌山市立有功小学校 |
| 校長氏名 | 山本 和也 |
| 作成日 | 平成25年1月 25日 |

1 教育目標

健康で豊かな人間性をそなえ、楽しく取り組める子ども

2 本年度の取組についての評価

| | 開かれた学校 | ゆたかな心 | 確かな学力 | 食に関する教育の推進 |
|-----------------|---|---|---|--|
| 重点 目標 【P】 | 地域・家庭・学校が三位一体となり、保護者や地域の方が親しみを感じ、学校行事等に参加しやすい学校づくりをめざす。 | 児童理解に心掛け、コミュニケーションを豊かにし、人間関係づくりに努め、「食と健康」の取組や道徳教育等を通して豊かな心を培い、「仲良く力を合わせる子」「生命を大切にする子」の育成をめざす。 | 児童が楽しく、かつわかる授業の改善に努め、自ら進んで勉強する子の育成をめざすとともに特別支援教育をより充実させる。 「うちどく」を推進する。 | 自らの望ましい食生活について考え、健康的な生活を実践できる子どもの育成をめざす。 |

| | | | | |
|---|---|--|---|---|
| 取組 の 状況 【D】 | <ul style="list-style-type: none"> ・学年・学級通信やHP等の内容の充実を図る。 ・地域へ広報誌発行。 ・学校行事や育友会行事への保護者の参加人数の増加対策を図る。 ・学校安全等についての関係機関との連携強化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の校門指導でありさつを軸にコミュニケーションを図る。 ・道徳教育の充実。 ・「食と健康」の研究を通しての「豊かな心」の育成に取り組む。 ・教育相談活動を充実させるとともに関係機関との連携強化を推進。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業や教員研修を充実させる。 ・学力の現状分析結果に基づく、授業改善等の取り組みを推進。 ・校内特別支援教育体制及び支援活動の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践研究及び健康面の取り組みを充実させ望ましい生活習慣の定着を図る。 ・食に関する関係機関との連携強化を進める。 ・保護者への啓発活動の充実の推進。 |
| 取組 の 評価 結果 と 課題 【C】 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域への広報誌発行は好評であった。 ・HPは頻繁に更新し学校の教育活動がよく分かるとの声をいただいた。 ・地域・育友会・学校が一体となり防災研修会を実施し、多くの地域の方々に参加いただいた。 ・育友会と地域、学校が一体となり、通学指導が充実して取り組めた。 ・学校行事や、研修会等に保護者の参加は決して多いとは言えない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の校門指導でのあいさつは定着してきた。 ・定着してきた「食と健康」の取り組みを通して、また、外部講師等と触れ合うことで豊かな心の育成を図れた。 ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが配置され、連携し、相談活動がより充実した。 ・日々、学校の教育活動全般で道徳教育の充実を図ることが大切。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力分析を行い、具体的な向上対策に取り組んできた。 ・校内研究授業等や研修会を実施し、多様な講師を招聘した。 ・特別な教育的支援の必要な児童に対して教職員の共通理解のもと組織だった取り組みができてきた。また児童に対する「見立て」の部分で意識の向上が図れた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践研究や関係機関との協力連携は今まで以上に定着してきたが、子どもの運動習慣や生活習慣改善については全学年で、健康・体力に視点をあてた取り組みをスタートさせた。 ・本校の実践を研究発表会で市内の小学校に発信するとともに参会者から貴重な意見をいただいた。 ・保護者への啓発活動をさらに充実させる必要がある。 |
| 次 年 度 改 善 方 法 の 【A】 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会や教育講演会への参加者増加に向け、育友会の協力を得ながらより一層努力する。 ・引き続きHPを充実させ発信していく。 ・引き続き地域への広報誌を発行。さらに機会あるごとに地域の関係機関の会合で本校の教育や児童の状況を発信し連携を強化していきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・食と健康の実践を通じた取り組みの一層の充実。 ・全学年で道徳教育のさらなる充実を図る。 ・スクールソーシャルワーカーやカウンセラー等を活用した相談活動や、組織だった支援の充実を図るとともに教職員の意識や指導力の向上を図る。 ・校門指導を継続しあいさつからコミュニケーションを図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員研修の充実と授業改善策に引き続き取り組む。 ・学力の二極化対策に引き続き取り組む。 ・特別支援教育の推進に向け、組織としての取り組みをより一層強化し、個別の指導計画に基づいた具体的な支援をより充実させる。 ・「うちどく」の取り組みをさらに推進させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「食」の教育と共に生活習慣改善や、健康・体力面の充実に向け引き続き取り組む。 ・家庭の食事内容改善に向けて、保護者に対して具体的な啓発を行う。 ・本校の実践を他校へも広めていく。 |

3 その他の課題

- ・教職員配置について、粘り強く関係機関の理解を得ることができるよう尽力していく。
- ・保護者の学校教育や子育て等に対する考え方が多様化してきている現状を認識し、関係機関と連携しながら有功小学校の教育内容等に理解を得る方策を常に検討していき、適切に対応していきたい。